

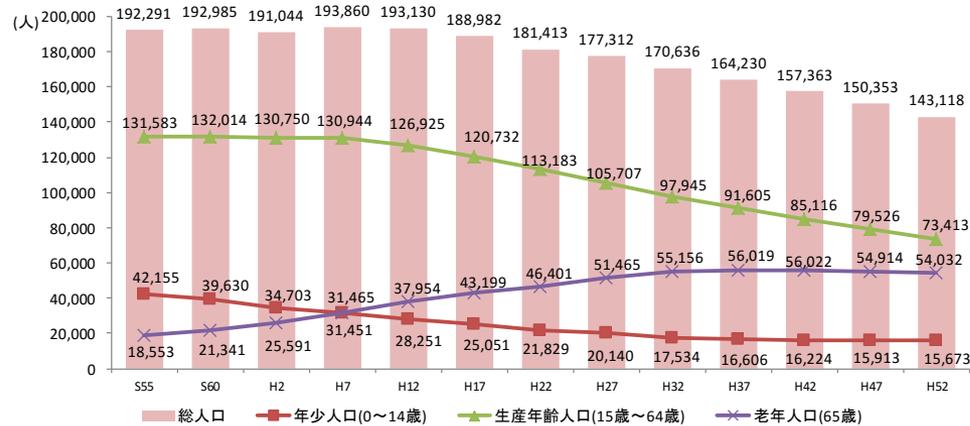
ひろさきワーク・チャレンジプログラムに 関する研修会

ひろさきワーク・チャレンジプログラムの 概要と目的

2016年1月28日
弘前市経営戦略部
ひろさき未来戦略研究センター

1. 弘前市の人口の推移

弘前市総人口・年齢区分別人口の推移《将来展望》



出所:H22までは国勢調査(H17以前は旧弘前市、旧岩木町、旧相馬村の合計)、H27は住民基本台帳(H27/4/1現在)、H32以降は将来展望人口による

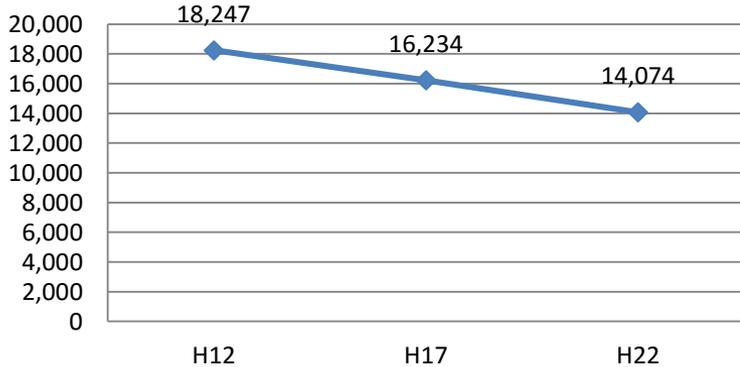
《人口の将来展望による課題》

- ①高齢化による社会保障関係経費の増加
⇒生産年齢人口の負担増
- ②生産年齢人口の減少
 - ・消費活動の低下による地域経済の縮小
 - ・担い手不足

↓

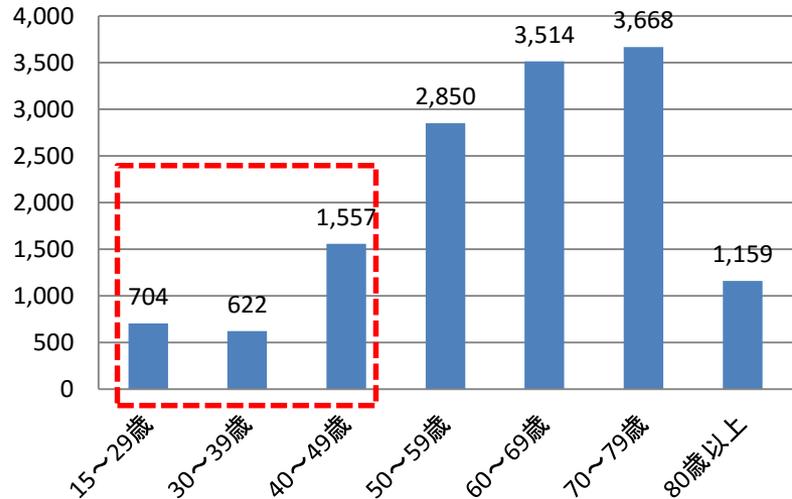
人口減少と地域経済の縮小の悪循環

農業就業人口の推移(人)



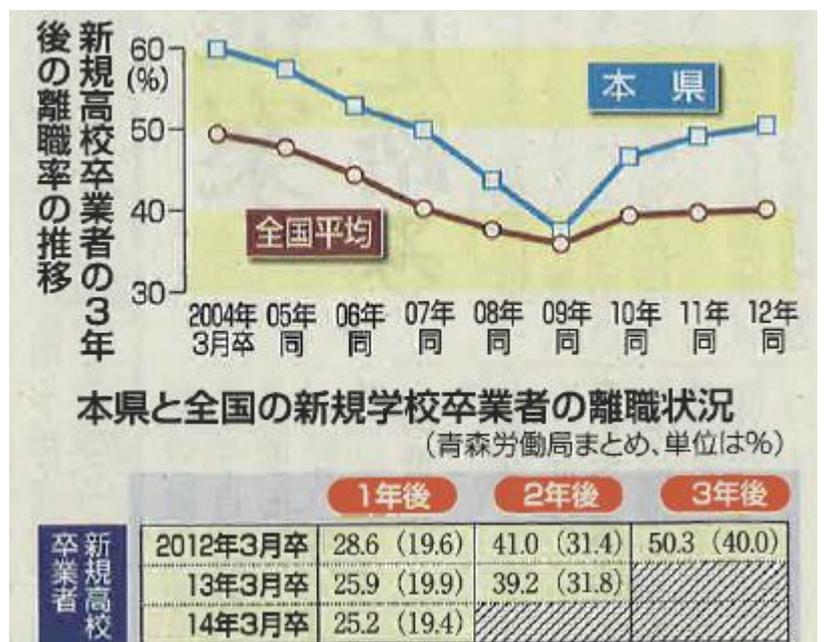
出所:農林業センサス

H22 年齢別農業就業人口(人)



出所:農林業センサス

2. 青森県の就業状況

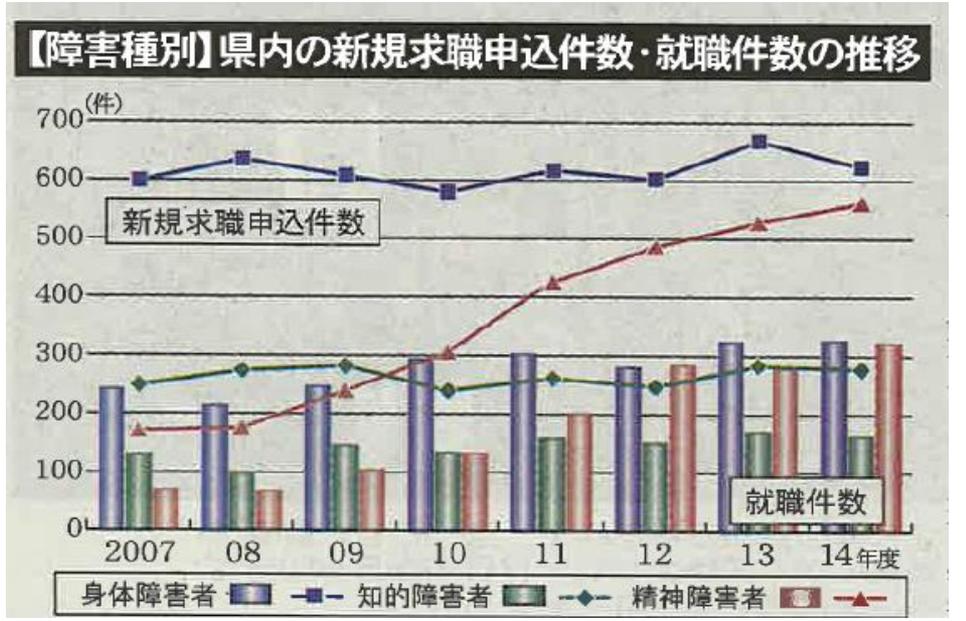


※12月12日東奥日報 掲載記事抜粋

【現状】
 県内に就職した高校卒業者のうち、3年以内に仕事を辞めた人の割合が、6年ぶりに50%を超えた。

【離職理由】～青森職業安定所～
 ・求人数などの雇用環境が他の都道府県に比べ悪く、望む仕事に就職できない。
 ・中小企業が多く、少人数の中で人間関係で悩む。
 ・低賃金や労働時間の長さなど待遇面で不満を持つ。

【課題】
 ・ニート等になる前の支援
 ・職業意識の低さを改善し、働く意欲の向上が必要
 ・働きやすい職場環境の整備



※1月18日陸奥新報 掲載記事抜粋

【現状】
 県内の民間企業で働く障がい者の中で、精神障がい者が、身体・知的障がい者に比べ、新規求職申込件数が大きく伸びており、相談件数も増加

【課題】
 ・障がい者に対する企業側の理解が重要
 ・個人に合わせた受入体制づくりや仕事の割り振りが必要
 ・働き続けたい企業となる職場の環境整備
 ・社会的自立の促進
 ・2018年度から精神障がい者が、雇用義務の対象

3. 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略 抜粋

《基本目標①》安定した雇用創出と地域産業のイノベーション

1. 若者と女性の雇用環境を改善

(1) 現状と課題

ハローワーク弘前管内の企業の雇用状況などを見ると、建設業の各種技術者、技能者等を始め、介護職員や看護師など、職種によっては、求人に対して人が集まらないなどの人材不足がここ数年の課題となっており、求職と求人のミスマッチが生じていると言えます。

また、女性の社会参加の動きが活発化する中で、今後、出産、育児を迎える女性が安心して就労し活躍できるようにすることや、出産や子育てを機に離職した女性が復職し活躍するためには、産休、育休などが取りやすい職場環境の整備が重要であるとする意識調査結果が民間調査団体から公表されており、本市においても、その取り組みが必要と考えます。併せて、社会全体で仕事と生活の双方の調和の実現を目指すため、ワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発も行う必要があります。

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

・・・離職した若者の再チャレンジも支援します。

出産や子育てなどが女性の離職に繋がらないような、また、出産等を経験した女性が復職できるような雇用環境の整備も進めます。

2. 就業人口の上昇

(1) 現状と課題

人口ビジョンの将来展望では、年少人口と老年人口がほぼ横ばい又は微減する一方で、生産年齢人口は減少が続きます。生産年齢人口の減少は労働投入量の減少に繋がり、本市の総生産も減少することになります。また、農業をはじめ後継者不足が大きな課題として顕在化してきています。

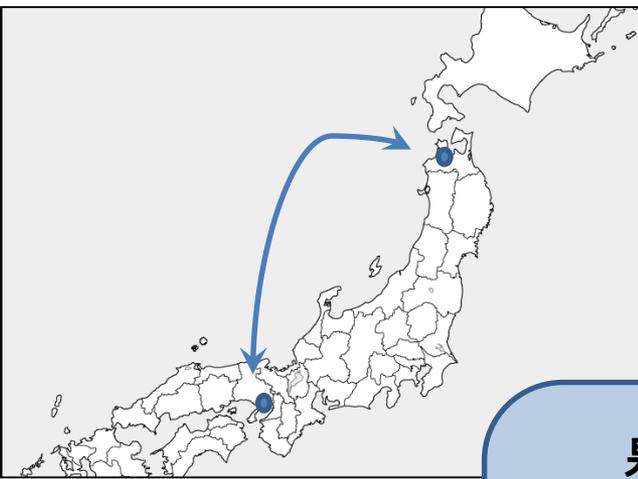
一方で、社会全体としての労働力を確保するため、高齢者や女性に加えて、就労困難者や生活困窮者などが新たな担い手として注目されてきており、行政による就労支援が求められています。このことは、社会保障費の低減という効果も期待できます。

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

ワークシェアや分業による簡易な仕事の創出などにより、高齢者や障がいのある人などが新たな担い手として活躍できる環境づくりとそのための継続的な支援を行います。また、生活困窮者への新たな就労支援にも取り組みます。

農業後継者の育成・確保に取り組むとともに、新規就農者の円滑な就農・定着を支援するほか、新たに自治体連携も視野に入れた就農者の育成にも取り組みます。

4. 都市と地方をつなぐ就労支援カレッジ事業



10~15人
年5回程度

泉佐野市
~就労支援カレッジ~

- ・農業の基礎を習得 (生産・加工・販売)
- ・個々の状態に応じた訓練プログラム作成
- ・地方での暮らしを学ぶ

- ・研修生の受け入れ
⇒農作業体験等を実施
- ・りんご栽培就労研修プログラム策定
⇒地元若年者・女性等の就労時に活用

就農研修生・若年者等の雇用による農業従事

ワークチャレンジ・プログラム策定
⇒生活困窮者等の就労支援に活用

農業分野も含めた弘前ならではの就労支援

就農希望者
新卒未就職者

先進自治体参考

- ①6次産業分野での就労
- ②2地域居住などの都市間移転

5. ひろさきワークチャレンジ・プログラムについて

(目的)

- (1) 人口減少の進行に伴う地域経済の規模縮小や地域活力の低下を防ぐため、社会全体で労働力を確保
- (2) 様々な就労阻害要因によって就労が困難な者が新たな担い手として活躍できる環境整備による就業人口の上昇
- (3) 就労が困難な者に対する就労支援の理解の深化

(概要)

- (1) 就労支援に関する各支援事業及び支援機関の有機的な連携を推進する人材を養成するための研修等を開催
- (2) 就労支援を実施する事業所開拓の検討
- (3) 就労支援を実施する事業所等に対するインセンティブの検討
- (4) 就労支援に関する連絡会議等を開催
- (5) 就労支援に係る市内事業所等の実態を調査分析し、就労支援に係る手順、人材育成方策等について取りまとめ、今後の就労支援の展開に活用

地域をオール弘前体制で支えていく就労支援の仕組みを構築